

科目名		就職実務			
担当教員	仁多見 透	実務授業の有無	○		
対象学科	建築士専攻科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	<p>厳選採用を突破するためには「その企業に入社したら自分は何をやりたいのか。他の人と違う何ができるのか」を自分の言葉でアピールできなければなりません。受験する企業を選ぶ際には「いかに自分がやりたいことを見つけてから選ぶか」が重要なポイントとなる。就職活動をスタートする準備として、「就職活動の心構え」から「履歴書の書き方」・「面接試験の受け方」等を学んでいきます。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>自律的な就職活動ができるようになる。就職の内定。社会人としてのマナーとルールが身に付いている。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	「SUCCESS」 ウィネット				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	建築業界の現状と展望／建築関連職種の紹介	建築業界の現状と展望 建築関連職種の詳細について説明			
2	建築関連資格の案内（一級建築士、一・二級建築施工管理技士、建築設備士等の国家資格）	建築関連資格について理解する。			
3	就職活動の準備とスタート	就職活動の心構え、就職活動の流れを理解する			
4	自分と職業を理解する	職業を知る。 自己PR、志望動機を作れるようになる。			
5	情報収集・企業研究	情報収集のポイント（情報の収集方法と就職相談室の活用）や、企業研究の方法（インターネットの利用、求人票の見方）を理解する。			
6	企業訪問	エントリーシート／履歴書の書き方 企業訪問準備、アポイントメントのとり方、訪問お礼状の書き方を身に付ける。			
7	就職試験対策	就職作文の書き方、 面接試験（面接試験の受け答え方、スピーチの訓練）の対策をする。			
8	内定後のフォロー	内定後の諸手続や、内定先企業へのお礼状の書き方を身に付ける。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
<p>就職関係提出書類 70% 出欠席300%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>		<p>5年後、10年後の「自分の未来像」をしっかり持って就職活動に臨むこと。</p>			
実務経験教員の経歴	建築施工管理者として16年勤務。				